正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

4月号 2023



待ちわびた瞬間
—イエメン・サウジアラビア被拘束者の解放—

家族や愛する人のもとへ安全に戻れるようにICRCは、2023年４月14日—17日の４日間、イエメン紛争関連で捕らわれた970人以上の被拘束者の解放と移送をサポートしました。久しぶりに祖国の大地を踏み、愛する人との再会を果たし、喜びと希望にあふれた瞬間となりました。

「一刻も早く、祖国イエメンの大地にキスしたい！！」

【目次】

紛争の現場から

・ICRCはどうして武装集団に接触するの？
・被拘束者にも神聖な１カ月を祝う伝統的な食事を
・人道支援のためのスペースを —スーダンにおける戦闘—

世界のトレンド

・紛争が起こるのは、地球上だけではない？

・武器を輸出する側にも明確な責任と役割を —武器貿易条約採択10周年—

駐日代表部だより

・国際人道法の守護者としての一端を担うチャンス
・人道援助コングレス東京2023 公式サイドイベント開催！ICRC職員も登壇予定！
・【赤十字×SSFF & Asia】期間限定チャリティープレート 表参道のカフェで今年も実施

紛争の現場から



ICRCはどうして武装集団に接触するの？

人道支援を行う上で、ICRCが昨年リストアップした武装集団の数は524に及びます。必要な支援を必要な時に迅速に届けるためには、武力紛争やその他暴力を伴う事態に関与しているすべての紛争当事者と関係を築く必要があります。

具体的には・・・？４つのQ＆A



被拘束者にも神聖な１カ月を祝う
伝統的な食事を

イスラム教徒にとって聖なる断食月である「ラマダン」。ラマダン月を迎えたソマリアでは、収容施設にいる被拘束者に対して、日没後にとる伝統的な食事のためのヤギ肉やレンズマメなどの食料を提供しました。

１日３食はもはや“贅沢”というソマリアの現状



今月半ばに都市部での戦闘が発生したスーダン。首都ハルツームをはじめ、国内各地で暴力が横行し、民間人の犠牲も発生しています。医療物資や食料の不足、そして電気や水などの民間インフラも戦闘の影響を受け、人道支援のニーズが日々高まっています。

スーダンに関する最新リリース

ICRCスタッフによる近況報告（音声動画）

世界のトレンド



紛争が起こるのは、地球上だけではない？

テクノロジーが発達した今、武力紛争の脅威はもはや地球上だけの話ではありません。世界各国が宇宙開発を進めるなか、ICRCは、宇宙空間における武器の使用や軍事作戦の危険性について、国際社会に対して警鐘を鳴らしています。

宇宙空間でも“やりたい放題は許されない！”

日本人に知ってもらいたい！



武器を輸出する側にも明確な責任と役割を
—武器貿易条約採択10周年—

2023年４月、爆弾や戦車、戦闘機などの通常兵器の国際貿易において、責任ある取引を謳った武器貿易条約の採択から10周年を迎えました。しかし今なお、武力紛争の現場に武器は流入し続け、受け入れがたい犠牲を民間人に強いています。

武器移転の規制は今なお人道上の緊急課題

駐日代表部だより



国際人道法の守護者としての一端を担うチャンス

ました。

「広報の魂は細部に宿る」？



人道援助コングレンス東京2023 公式サイドイベント開催！
—ICRC職員も登壇予定！—

パックンマックンがMCをしたプレイベントに始まり、４日の日程で開催された人道援助コングレス東京2023。最後は、「災害現場」で必要とされる人道援助について考えます。アフガニスタンでの震災対応にも携わったICRC職員も登壇します！

参加申し込みはこちら



【赤十字×SSFF ＆ Asia】期間限定チャリティープレート
表参道のカフェで今年も実施

国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル ＆ アジア」で、ICRCが立ち上げた「戦争と生きる力プログラム」も今年で９回目。今回は久しぶりにリアル会場でも上映を予定しています！６月の開催前に、毎年恒例の期間限定チャリティープレートを表参道のカフェ ル・ポミエ（Café Le Pommier）さんで提供します。期間は５月３日（水）から６月30日（金）まで！ ぜひ、お試しください！

アクセス：カフェ ル・ポミエ（表参道店）〒150-0001 東京都渋谷区神宮前５丁目８−２ 日本看護協会２階ビル

詳しくはこちら

その他のニュースはこちら

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

mailchimp